

- □ 実施日 2009年10月31日(土)
- □場 所 山口市徳地地域交流センター

島地分館(拠点)

- □ 対 **象** 山口市徳地島地·周南市和田
- □ 時 間 8時30分 ~ 16時
- 口 今回の訓練の目的

この度の官民協働型防災訓練は、佐波川流域で発生した 「7・21豪雨災害を忘れないために…。」を念頭に、もしもの 時に一人の犠牲者も出さないため「**どのタイミングで避難」**を テーマにして、起こりうる現実的な気象想定で地域住民参加 の発災対応型訓練を実施しました。

- 〇発災対応型自主避難訓練
- 〇避難所運営訓練
- 〇公開型訓練検証 ...等

● 訓練スケジュール

午前の部

8:30

あいさつ

佐波川流域防災訓練実行委員会

委員長 瀧本 浩一

山口市

渡辺 純忠 市長

開始 9:00

〇行政情報伝達

(気象情報)…下関地方気象台

(注意情報)…国土交通省島地川ダム管理支所

⇒ 山口市徳地地域交流センター島地分館

〇島地防災会(仮称)の四役員に対し緊急参集の連絡

⇒ 島地地区現地対策本部 立ち上げ

9:30

「地元住民、自治会、消防団参画]

○気象情報, ダム放流情報の収集

○自主避難の判断 ⇒ 地元住民「避難行動」開始 各ブロック(島地・上村・藤木・山畑)へ自主避難指示

〇避難所開設の指示(炊き出し開始)

○避難に関する問合せ・要請に対応

「避難勧告」発令!) (10:30

〇防災無線、消防車、パトカー、ダムスピーカー(周南市)

〇逃げ遅れ災害時要援護者から「救援要請」

⇒地元住民により避難所へ誘導支援

午前の部 終了 12:00

昼食の部

避難所運営訓練 アルファー米+おでん+豚汁 「新型インフルエンザの予防について」

訪問介護ステーション「つばさ」

午後の部

13:15 公開型訓練検証 ~これで委員会~

講演「佐波川流域官民協働型の防災訓練について」

講師 水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊 見守り隊員 (国交省中国地方整備局 建設専門官)

パネルディスカッション

「佐波川流域の災害に備えるために何が必要か?」

国土交通省,下関地方気象台,山口県,山口市 他

15:00 訓練終了

① 午前の部 (開会式・防災ブース)

〈開会式〉

●実行委員長あいさつ



●山口市長あいさつ



●オリエンテーション



〈防災プース〉

●情報から始まる防災 (下関地方気象台) ●情報から始まる防災 下関地方気象台 ●災害時救援車両·機器 (陸上自衛隊第17普通科連隊)

●災害用伝言ダイヤル (NTT西日本)



●防災に関する情報 (山口河川国道事務所)



受害から身を守る (山口県技術士会)



② 午前の部 (発災対応型自主避難訓練・避難所運営訓練)

〈 現地対策本部 〉

●災害情報収集•整理



(ダム放流状況等の問合せ)



島地川ダム管理支所

●避難問合せ・要請対応



〈 災害時要援護者救援 〉

(山口市徳地地域交流センター島地分館)

●災害時要援護者救援

訓練! 大雨により河川 がはん濫する危険が高 まったため、和田地区一 帯に『避難勧告』が発令 されました。(周南市)

〈避難勧告広報〉

●島地川ダム警報局スピーカーの活用



●島地駐在所 パトカー

●消防団消防車



〈避難所運営〉

訓練!ご近所同 士、お互いに助 け合って、慌てる ことなく、安全に 避難してください。







●救急看護





③ 午後の部 (公開型訓練検証)

講演 】 佐波川流域官民協働型の防災訓練について



【 パネルディスカッション 】 佐波川流域の災害に備えるために 何が必要か?



下関地方気象台, 山口市, 山口県, 国土交通省)













(訓練参加者との

•意見交)





地域防災力・情報収集の 重要性を認識